なんでもインフォ 2015.11

発 行　株式会社 昭和土木設計
岩手県矢巾町流通センター南4丁目1−23　Tel 019-638-6834　Fax 019-638-6389

～活火山について ～

はじめに

昨年の 9 月に長野県と岐阜県の県境にある御嶽山が噴火し、死者、不明者あわせて 53 名という戦後最大の火山災害が発生しました。このほか、鹿児島県の口永良部島の噴火、東京都小笠原諸島の西ノ島の噴火、箱根の噴火活動など、東日本大震災以来、日本全国で火山活動が活発化してきています。

今回は、この活発な火山活動が起きている活火山を取り上げたいと思います。

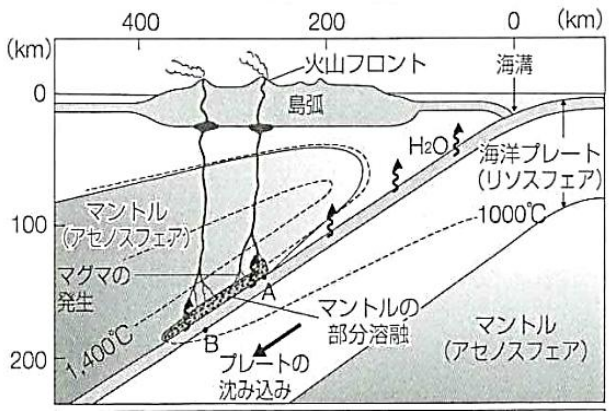
活火山とは

以前には、死火山、休火山、活火山など、火山を噴火記録のあるなしや、現在活動しているか否かなどで、区分していましたが、2003 年に火山噴火予知連絡会は「概ね過去 1 万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」を活火山と定義し直しました。

当初、活火山の数は 108 でしたが、2011（平成 23）年 6 月にはさらに 2 火山が新たに選定され、活火山の数は現在 110 となっています。

火山の成因

火山は、海溝沿い、中央海嶺、ホットスポットにできます。日本列島にある火山は海溝沿いにできる火山と言うことになります。海溝沿いにできる火山は火山フロントを形成します。この火山フロントの成因は、プレートが日本列島の下に沈み込むときに、プレートの中に含まれる水が地下深くで放出され、マントルの中でマグマができます。このマグマが地表に出たものが火山で、海溝に沿って線上に配列し、火山フロントを形成します。この火山フロントの火山列を昔は那須火山帯のように火山帯と呼んでいましたが、現在はこの言葉はあまり使われていません。



＜出典：山はどうしてできるのかブルーバックス＞

火山噴火の種類

火山噴火は、マグマに溶け込んでいる水（水蒸気）が急激に膨張することで起き、そのエネルギーは水蒸気ということになります。この水蒸気の由来で、噴火の種類が次のように区別されます。

①マグマ噴火：マグマそのものに溶け込んでいる水が水蒸気になりマグマ自体が噴火する。

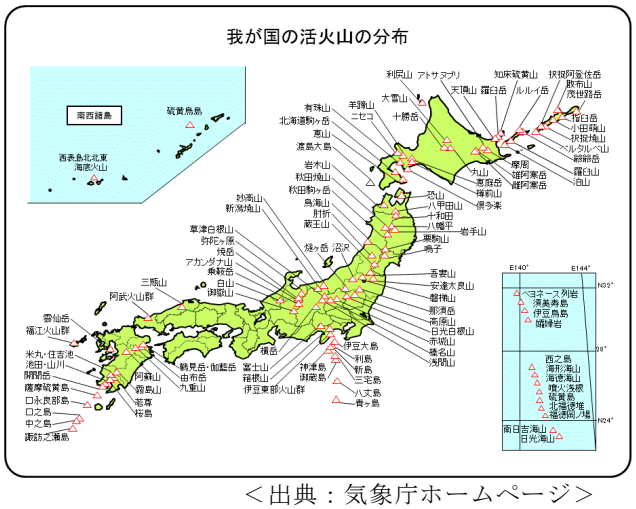
②水蒸気噴火：地下水、火口湖の湖水などマグマの外にあった水がマグマに熱せられて蒸気になって噴火する。

③マグマ水蒸気噴火:マグマの外にあった水が、マグマと地下水などが直接ぶつかることで水蒸気と一緒にマグマが噴き出す噴火で、爆発の強さが一番大きい噴火です。

日本百名山と活火山

有名な深田久弥の日本百名山のうち、約 1/2 の 51 座が火山で、そのうち約 1/3 の 32 座が活火山です。さらに気象庁が常時観測、監視体制をとっている火山は約 1/4 の 22 座です。

東北地方では、活火山が岩手県の岩手山、八幡平を含め 9 座で、そのうち常時観測体制を取っている活火山は、岩手山をはじめとして、7 座です。そのほか、百名山以外の活火山は、栗駒山をはじめとして、7 座あり、東北地方の活火山は全部で 16 座あります。



＜出典：気象庁ホームページ＞

ちなみに、岩手県にある日本百名山のひとつである早池峰山は、マントル物質である超塩基性岩の橄欖岩や、その変質岩である蛇紋岩からできています。蛇紋岩の山は日本でも珍しく、そのため貴重な高山植物が数多く見られるのです。

株式会社 昭和土木設計の紹介

弊社は，道路・河川・橋梁等の計画・設計，GIS，IT ソリューション等の業務を行っております．

”なんでもインフォ“のバックナンバーについては http://www.showacd.co.jp をご覧ください．

配布者

作成者：コンサルタント事業部